



藤野 和美 議員

子育て世帯に経済的支援を

答 財政的に厳しいので難しい

嵐山町が、消滅自治体にならないように頑張っています。

問 嵐山町の人口は、2060年には9034人になってしまふ。子育て世帯への経済的支援を充実させることで、人口減少に歯止めをかけることができるのではないか。

答 嵐山町の人口は、2060年には9034人になってしまふ。子育て世帯への経済的支援を充実させることで、人口減少に歯止めをかけることができるのではないか。

再問 教育委員会事務局 長 (1) 厳しい財政状況なので、適当ではないと考える。

答 子育て支援課長 (2) 現時点で拡大の考えはない。

再問 町民課長 (3) 法令に基づいた軽減制度で対応している。補助を行う考えはない。

ラベンダー園は来年からどうなる

問 今年度予算の6608万円の執行状況は。

答 農政課長 現在の執行率98・2%。

再問 これまでの一般財源からの支出は。

再答 副町長 平成28年度からの事業費約2億5000万円のうち一般財源は6400万円。

再問 来年度からの運営費は。

再答 農政課長 事業協会から戻ってきた1350万円をやっていく。

問 ラベンダー以外の花を展開するつもりは。

答 農政課長 4haの部分に他の草花を検討していく。

問 来年度の計画は。

答 農政課長 今年のようなイベントは開催しない。

外出支援タクシー助成制度について

問 月4枚では少ないと思うが。

答 長寿いきがい課長 増やす考えはない。改善していくつもりはあるか。

再問 改善していくつもりはあるか。



千年の苑・ラベンダー園の現状=R元. 12. 13

再答 長寿いきがい課長 現在は試行段階なので、検討はしていく。

空家対策について

問 環境問題を起こしている空家の対策は。

答 環境課長 所有者等に個別に対応している。

再問 特別措置法の適用の考えは。

再答 環境課長 検討していく。



青柳 賢治 議員

なぜ解散？ 埼玉中部資源循環組合

答 組合管理者の辞意、吉見町の地元調整困難

嵐山町として、とても残念。でも立ち止まるな

なぜ解散に

問 (1) 町の考え方 (2) 今後のごみ処理

答 副町長 (1) 正副管理者の政治的判断で合意形成を図り事業を進めることとしていた。組合管理者である吉見町長から辞意の表明があり、協議の前提となる吉見町の主張が変わらず、事業を推進していく上で地元の調整が困難と判断したことは事業の達成そのものが困難と考へざるを得ず「解散やむなし」の結論に至った。

これから水害対策

問 (1) 台風19号による被害総額は

(2) 対応は適切だったか (3) 避難所の在り方 (4) 各地区、防災会との

再問 このような事態になったことをどう考える。

再答 町長 残念至極。ご迷惑をかけ申し訳なく思っている。

答 地域支援課長 (1) 1億800万円 (2) 志賀小学校体育館の避難者が多くなり、菅谷中学校体育館を避難所として増設したこと

などの課題も残った。(3) 防災会、区、自治会の皆様にご協力をいただき運営体制を整備する。(4) 12の防災会で区長と兼務の防災会が7組織

ある。3か所の区で自主的に集会所などを避難所として開設していただいた。一層の連携を図る。



10月12日の台風19号で被災した、遠山地区・ときがわ町境の「谷川橋」 「280mm」という雨量は今後も発生する思いを共有すべし=R元. 10. 13